



アジアに対して日本ができる貢献 ～低炭素社会に向けて～

環境省 地球環境局
国際協力室長 川又 孝太郎

於：シンポジウム「アジア低炭素発展への道」

2012年10月30日

コベネフィット Co-benefit

Ministry of the Environment
Government of Japan



- 更なる温室効果ガス削減のため、様々なコベネフィットの検討が重要
- アジアは様々な問題に直面
 - 大気汚染、水質汚濁、廃棄物処理
 - 洪水 (気候変動により、リスクが上昇)
 - 超高齢化社会
- コベネフィットの定量化が課題
- 適応への対応
 - アジア太平洋適応ネットワーク
 - ADBによるアジア気候予測コンソーシアム
- 都市での取り組みの重要性
 - 温室効果ガスの75%が都市起因
 - 実効性ある活動は、国レベルではなく都市レベルで可能



環境未来都市構想 Future City Initiative

Ministry of the Environment
Government of Japan



- 環境的、社会的、経済的に持続可能な都市実現のための途上国支援
- リオ+20において日本政府より提案
- 2013年3月にベトナム・ハノイで開催予定の「環境的に持続可能な都市のハイレベルセミナー」で議論



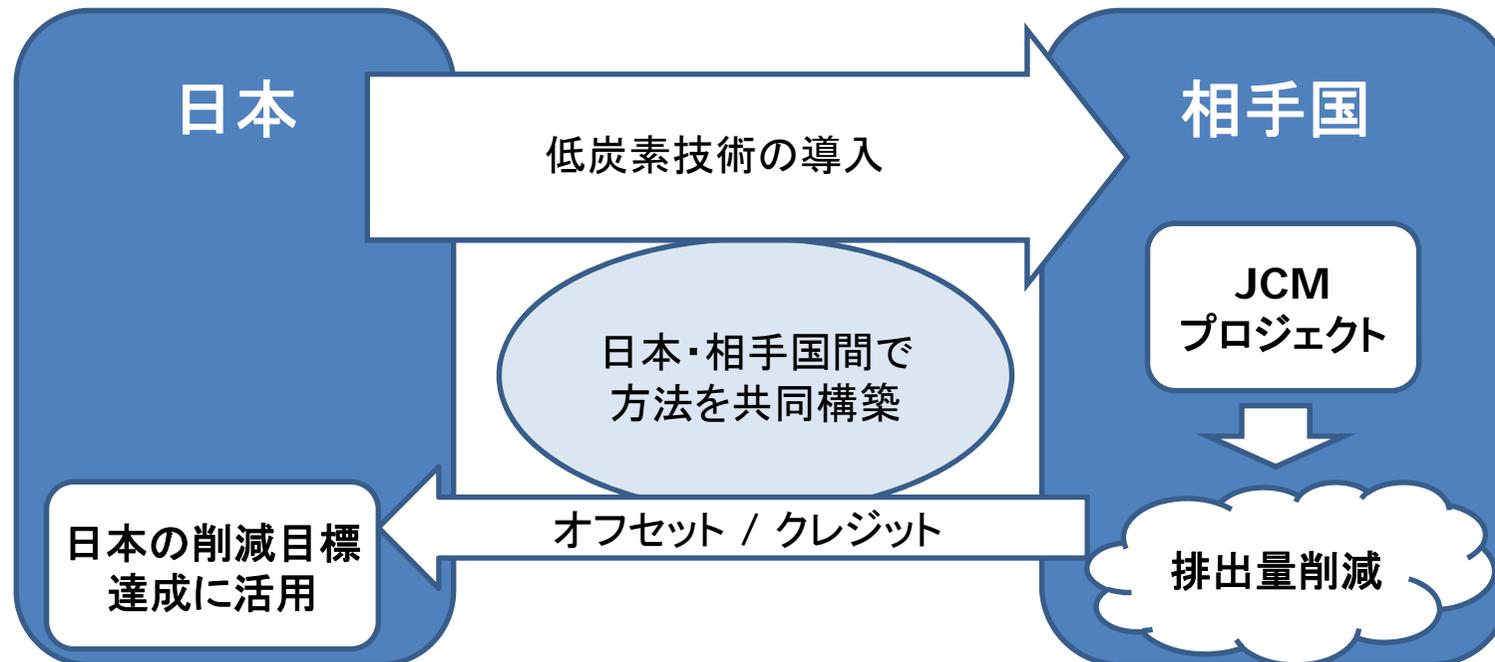
二国間オフセットクレジット制度 Joint Crediting Mechanism

Ministry of the Environment
Government of Japan

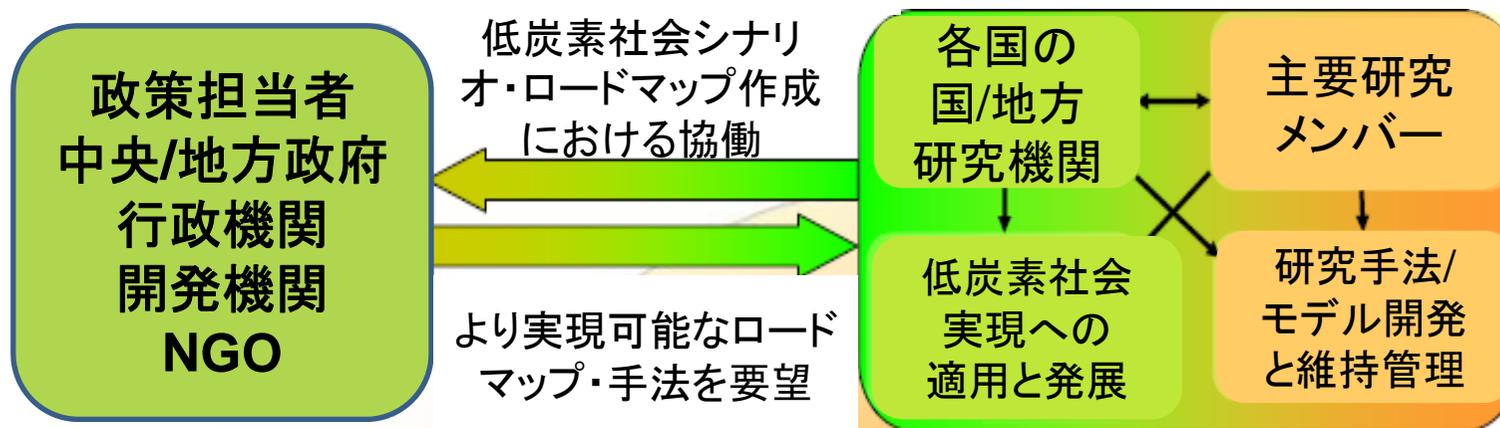


二国間オフセット・クレジット制度により、

- 低炭素技術の普及を促進
- 温室効果ガス排出量削減を定量的に評価
- 国連気候変動枠組条約の究極目標の達成に貢献



科学に基づいた政策決定 Science/Evidence-Based Policy



環境省の目指す支援

